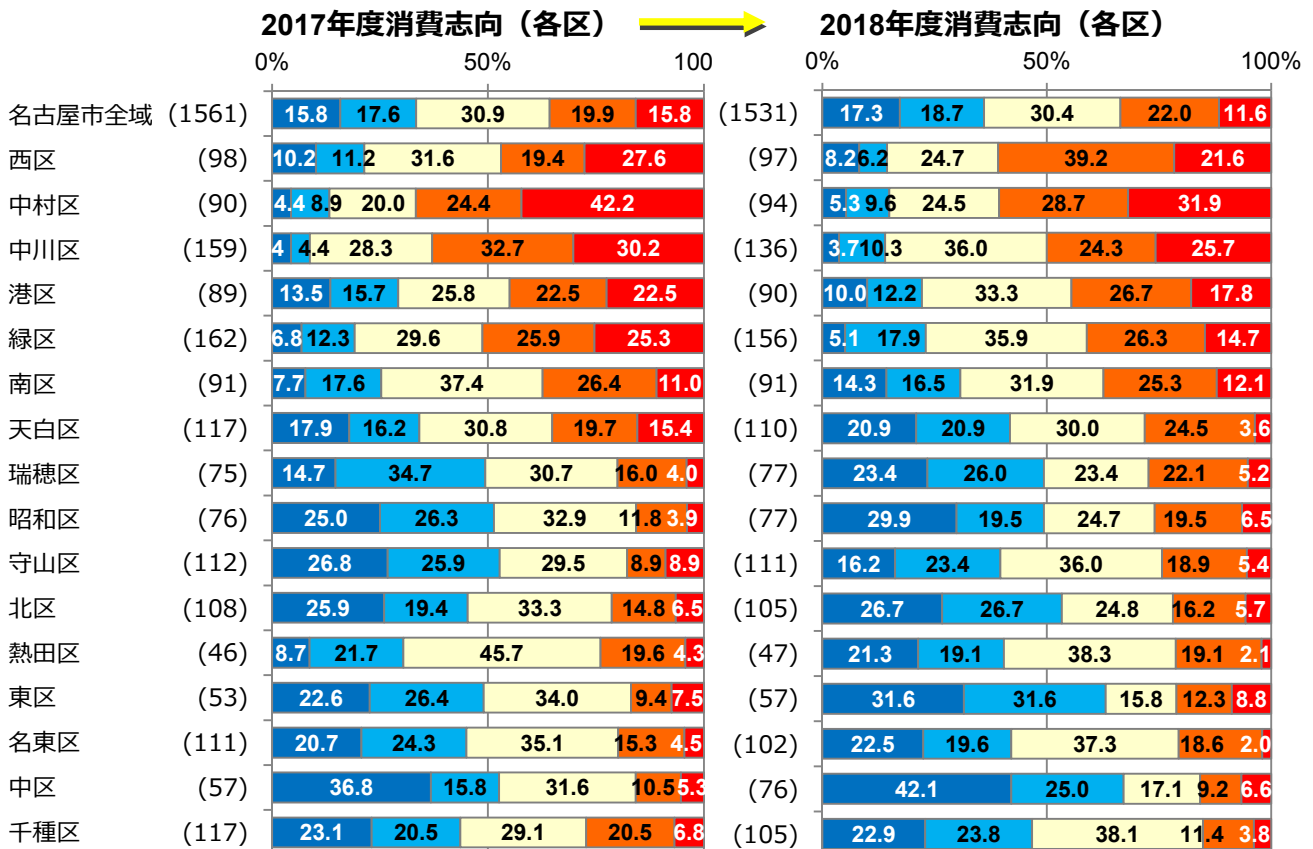
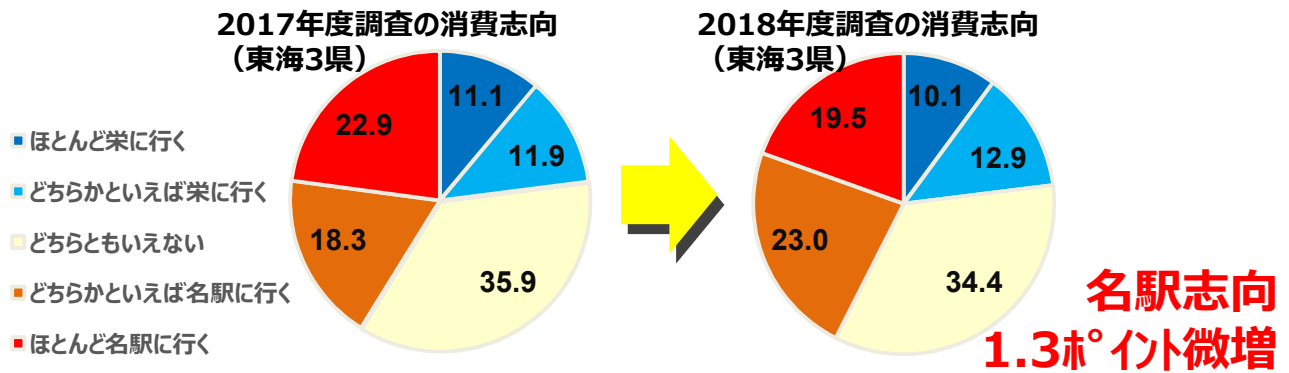


当社では、名古屋市市の二つの顔である『名駅』と『栄』が、どのように変貌を遂げていくかを定点でその実態を追跡して行くことを進めております。今回、2017年に続き、2018年も4000超のサンプル数を確保し代表性のある定点調査を実施しました。

2017年、2018年『名駅派』『栄派』買物の行き先志向比較

全体の大きな変化はないが、区単位で変化あり！

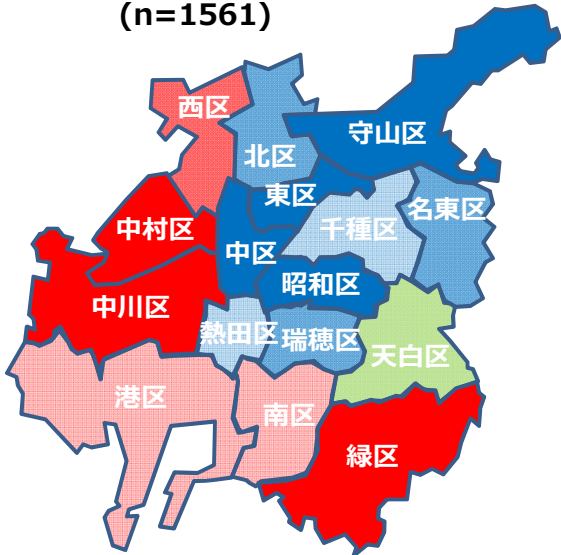
現在、あなたは、百貨店などで買物をする際の行き先として、栄と名駅のどちらに行くことが多いですか。（1つだけ）



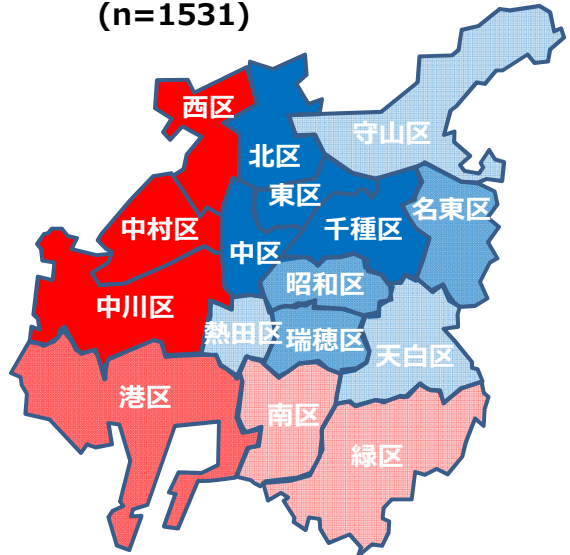
『名駅派』『栄派』合戦 勢力図2017-2018

2017年、2018年調査をそれぞれ地図にプロットすると、『名駅派』へ逆転する区はなかったものの、増えた区は「守山区」「西区」「港区」「昭和区」などが挙げられます。守山区、昭和区は昨年、栄派が30ポイント以上、上回っていましたが、本年はその差が大きく縮むという結果が得られました。また、『栄派』が増えた区は、「中区」「千種区」「天白区」「緑区」が挙げられます。名古屋市南東の緑区、天白区は栄派の志向が高まったという結果になりました。

各区における2017年度消費志向
(n=1561)



各区における2018年度消費志向
(n=1531)



■ 名駅派 (ポイント差▲30以上)
 ■ 名駅派 (ポイント差▲30~20)
 ■ 名駅派 (ポイント差▲20~5)
 ■ 中立 (ポイント差▲5未満)
 ■ 栄派 (ポイント差▲30以上)
 ■ 栄派 (ポイント差▲30~20)
 ■ 栄派 (ポイント差▲20~5)

西区	名駅派▲25.6	昭和区	栄派▲35.6
中村区	名駅派▲53.3	守山区	栄派▲34.9
中川区	名駅派▲54.1	北区	栄派▲24.0
港区	名駅派▲15.8	熱田区	栄派▲6.5
緑区	名駅派▲32.1	東区	栄派▲32.1
南区	名駅派▲12.1	名東区	栄派▲25.2
天白区	中立▲1.0	中区	栄派▲36.8
瑞穂区	栄派▲29.4	千種区	栄派▲16.3

西区	名駅派▲46.4	昭和区	栄派▲23.4
中村区	名駅派▲45.7	守山区	栄派▲15.3
中川区	名駅派▲36.0	北区	栄派▲31.5
港区	名駅派▲22.3	熱田区	栄派▲19.2
緑区	名駅派▲18.0	東区	栄派▲42.1
南区	名駅派▲6.6	名東区	栄派▲21.5
天白区	栄派▲13.7	中区	栄派▲51.3
瑞穂区	栄派▲22.1	千種区	栄派▲31.5

<調査概要>

東海圏プロフィール調査

- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査地域：名古屋市周辺の東海三県（愛知県・岐阜県・三重県）主要都市居住者
- 調査対象：20~69歳男女 4,016サンプル
- 割付方法：実際の人口構成に近似したサンプル数配分（例：名古屋市1,531サンプル）
- 調査時期：2018年2月
- 調査機関：株式会社ジェイアール東海エージェンシー
オルフェウスコンサルティング株式会社

<調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東海エージェンシー
企画マーケティング部 担当：糟谷・鈴木・大久保
TEL: 052-566-3312 e-mail: yuya-ookubo@jrta.co.jp